

衣服形態により自立度および自立までの期間に差はあるか

飯野美奈¹⁾、中島崇暁¹⁾、風晴俊之¹⁾、美原盤²⁾

1) (公財)脳血管研究所美原記念病院リハビリテーション科

2) (公財)脳血管研究所美原記念病院神経内科

[はじめに]部屋着と外出着では衣服形態が異なり、更衣動作の自立度も一致するとは限らない。しかし、衣服形態による更衣動作の自立度や期間についての報告は少ない。当院では部屋着以外に外出着の更衣練習も取り入れている。そこで、部屋着と外出着の更衣動作の自立度および自立までの期間に差があるか調査した。

[対象]平成28年11月から平成29年8月までに回復期リハビリ病棟に入棟し、初発の脳梗塞・脳出血により片麻痺を呈し、かつ病前に更衣動作が自立していた166名を対象とした。

[方法]全対象者から上下衣ともに更衣動作が自立した割合を算出した。次に部屋着更衣が自立した患者について外出着更衣の自立率を算出した。さらに部屋着更衣と外出着更衣ともに自立した患者について、入棟からそれぞれの更衣が自立するまでの期間を比較した。

[結果]部屋着更衣が自立した患者は57.8%で、その患者のうち外出着更衣も自立した患者は92.7%であった。入棟から自立までの期間は、部屋着が 14.9 ± 17.3 日、外出着が 17.9 ± 20.6 日であり、有意差を認めた($p < 0.05$)。内訳として、部屋着更衣と外出着更衣が同時に自立した患者は84.3%、部屋着更衣自立後に外出着更衣が自立した患者は15.7%で、外出着更衣が部屋着更衣より先に自立する患者はいなかった。また、部屋着更衣自立後に外出着更衣が自立した患者は、部屋着更衣自立から外出着更衣自立までに 18.7 ± 14.9 日要した。

[考察]部屋着更衣が自立した患者のうち、外出着更衣が自立しなかった患者は7%おり、外出着更衣が自立した患者の15%は部屋着更衣自立から外出着更衣自立までに2週以上要した。以上より、外出着は衣服形態が複雑で、更衣の難易度が高いことが示唆される。部屋着と外出着では更衣特性が異なるため、入院中から外出着の更衣練習を取り入れていくことは有用である。